

# この町の名情景

高知県・宿毛市  
Sukumo-shi, Kochi-ken

# だるま夕日

DARUMA Sunset

## 冬の夕暮れ時に現れる自然の神秘 海に鎮座するだるまが幸運をもたらす

高知県の西南端に位置する宿毛市は、冬でも過ごしやすい温暖な気候で、海や山、川など豊かな自然に恵まれた町。そして、この町にある宿毛湾は、さまざまな形で海を愛する人たちから注目を集めている。魚のゆりかごといわれるほどの磯釣りのメッカであり、湾に浮かぶ沖の島周辺は、海水が澄ん

でいて珊瑚礁や熱帯魚が数多く見られるとあって、国内でも有数のダイビングスポットとして人気も高い。宿毛湾はたいへん入り組んだ形状をしていて、水深も深いため、たくさん魚が集まってくる。夕暮れ時まで釣り糸を垂らしていると、なにやら人が集まり始め、海に向かってカメラを構え

だした。何を撮影するのかとカメラの先に目を向けると、ちょうど夕日が海に沈むところだった。

しばしその情景を眺めていると、夕日が海に沈む直前で水面に溶けてしまふかのような幻想的な姿に変貌していく様子を見ることができた。夕日が完全に沈みきるまでの数分間、あまりの荘厳な光景に時間が過ぎていくのも忘れ、その場に立ち尽くしてしまった。ただ呆然と見入ってしまったため、写真に残しておけばよかったと後から悔やんだ。

あの素晴らしい夕景は、宿毛湾の冬の風物詩「だるま夕日」という。11月中旬から2月中旬の3カ月間で実際に目にするのができるのは、わずか20日ほどの10日程度と、まさに見るだけで「幸運」だといいたくなる夕景なのだ。大気と海水の温度差が大きく、冷え込みが激しい晴れの日に、海面から立ち上る水蒸気によって光が屈折して生じる自然現象で、風の強さも含めた気象条件がそろわないと実現しない、一種の蜃気楼のようなものである。

こんなにも心を揺さぶられる夕景は初めてだった。今冬のシーズン中には再び宿毛を訪れて、今度は多くのカメラマンに紛れ、真っ赤なだるま夕日をカメラに収めたいと思うのだ。

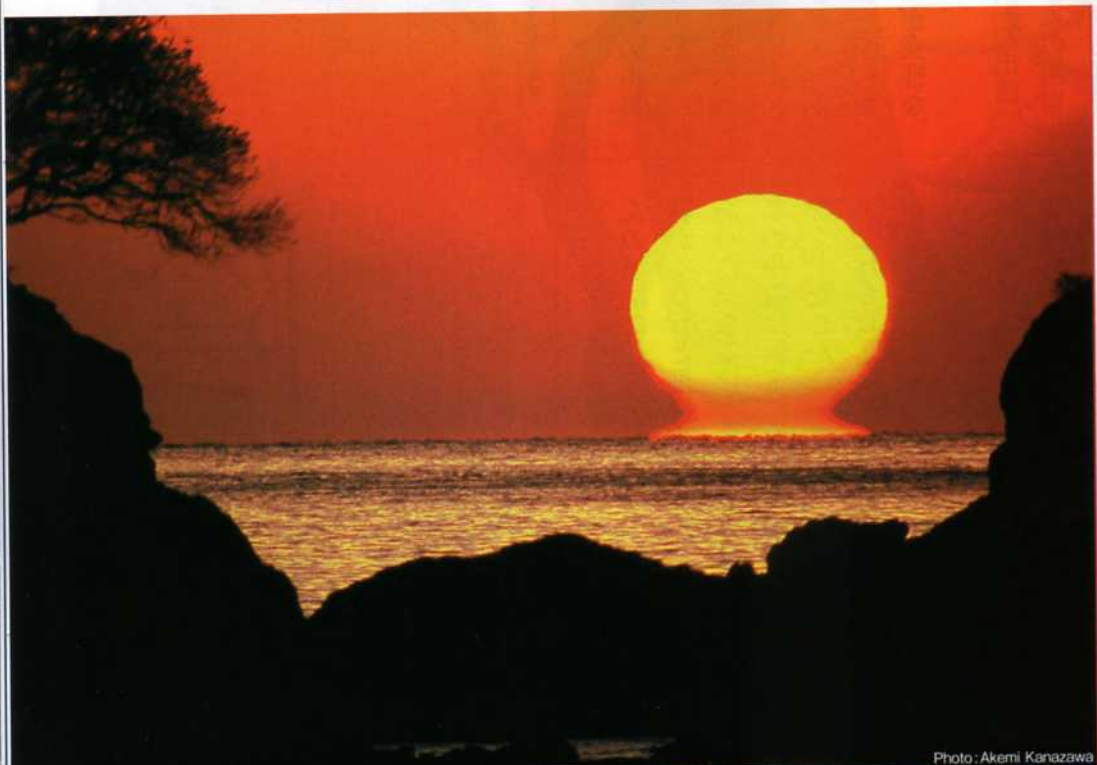


Photo: Akemi Kanazawa

### だるま夕日

宿毛湾の4つのポイントから観賞できるだるま夕日は、めったに見ることのできない「幸運の夕日」といわれている。だるま夕日が見られる威陽島やサニーサイドパークは、「日本の夕陽百選」にも選ばれている。絶好の被写体として全国からカメラマンが訪れ、美しくだるま形に沈んでいく夕日をカメラに収めていく。写真は宿毛市桜公園臨時駐車場からの夕景。

### INFORMATION

#### 沖の島

宿毛市に属する沖の島は亜熱帯気候で、アコウやピロウが自生するなど一年を通して温暖な気候が特徴。澄んだ青い海と断崖、そしてモザイクのような美しい段々畑や干棚といった集落の風景など、沖の島特有の景観が広がっています。



#### ダイビングスポット

沖の島・島来島周辺海域は、黒潮が流れ込む絶好のダイビングスポット。日本でも有数の透明度を誇り、大規模な珊瑚礁や熱帯魚をはじめ1000種類以上の魚が生息しています。全国から人が訪れる、知る人ぞ知る隠れた名所です。



#### 四万十川中流域(小野集落)

宿毛市から足を延ばして四国最長の川、四万十川の上流を目指すと、四万十町の小野集落に辿り着きます。山間部で生産される農産物の流通や往来と関わりながら形成されてきた、今もなお、美しい自然が残る地域です。

